

愛媛県 武道館 だより

第15号

平成21年8月
愛媛県武道館発行
〒790-0948
松山市市坪西町551
(☎089-965-3111)
<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

ごあいさつ

財団法人愛媛県スポーツ振興事業団
館長 渡部 敏夫

皆様方には、平素から愛媛県武道館の利・活用に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

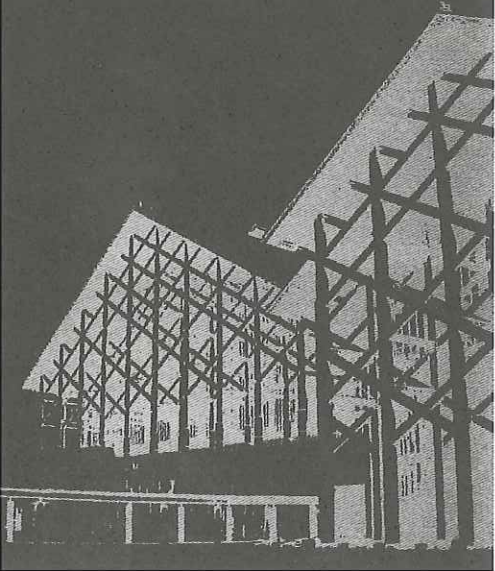
さて、私ども愛媛県スポーツ振興事業団は武道館の指定管理者として、平成18年4月から平成21年3月までの3力年間、皆様の御支援をいただきながら適正な管理運営に努めて参りました。お陰を持ちまして武道・スポーツの拠点施設としての役割を果たすことができました。

引き続きまして、今年度より第2期目（平成21年4月から平成26年3月までの5力年間）の指定管理者として管理運営させていただくこととなり、より親しまれる施設となるよう全力で取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。

当武道館では、平成15年10月開館以降、様々なスポーツや文化的イベント等が展開されておりますが、平成21年度も、「『媛の国』柔道フェスティバル2009」の国際規模の大会をはじめとする様々な武道の大会や「Vリーグ」等の室内競技、「ポルノグラフィティ」・「ゆず」のコンサート、「ディズニー・オン・アイス」等のイベント、「日本海洋少年団全国大会」等の式典会場として、御利用いただいております。

また、武道館の機能を活かすべく、武道団体と共に「武道体験フェスタ」、「鏡開き式」を開催し多くの方に武道に親しんでいただく企画や、トレーニングルームでの相談・指導、「スポーツ・レクリエーション教室」、「レクリエーション・バレーボール大会」や「バドミントン・卓球大会」等の自主事業を積極的に開催し、より多くの県民の方々に御来館・御活用いただいております。

今後とも、多くの県民の皆様にご足をお運びいただき、お一人おひとりにより愛され親しまれる武道館を目指し、職員一同一丸となって頑張っておりますので引き続き、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年度愛媛県(松山市)青少年 武道錬成大会(銃剣道)を主管して

愛媛県銃剣道連盟 白石 旻史

平成21年7月18日から20日の間、愛媛県武道館において四国各県から、受講生(小、中学生、高校生45名と指導者、役員16名)が参加し、中央派遣講師、兼坂弘道範士9段、上村重廣教士8段の熱意溢れる指導のもと、基本錬成を主眼に正しい銃剣道の普及と相互の親睦を図り、心身を鍛練して、正しく、強く、逞しい人間形成に資することを柱に、3日間の錬成大会を実施いたしました。この間両講師の卓越したご指導と受講者の熱心な受講態度により、基本、応用技の向上は著しく、又錬磨を通じて他県の受講者との親睦も深まり、充分に初期の目的は達成出来たものと確信しております。

兼坂先生の指導の一つに、最近の子供の姿勢の大切さ、又紙飛行機を使つての正しく作成しなければ真つすぐ飛ばない基礎の大切さ又棒を使用しての敏捷性の確認といろいろな道具を使用して小学生にも良く理解できるように説明していただきました。又高校生には一週間後に実施される全国高校生大会に向けてのアドバイスとても身についたことと思います。

今年は中国地方でも同じ時期に開催されており参加人員が少ないのではと心配をしましたが四国各県のご協力により参加人員も多く来ていただき感謝しております。又高知県からはタイ、中国等外国からの留学生(女性含む)の参加もあり、楽しく盛んに大会が実施されました。この大会運営がスムーズに出来たのも県武道館渡部館長をはじめ、関係職員の方々の心のこもったご指導、ご支援があったお陰と深く感謝しております。本当に有難うございました。最後に愛媛国体も8年後に控え、我が銃剣道を少しでも飛躍させるよう役員一同普及振興に努めてまいりますので各関係機関及び諸先生方のご指導、ご支援を宜しくお願い致します。

青少年武道錬成大会(銃剣道)に 参加して

北伊予中学校一年 白石 尚也

僕は銃剣道錬成大会に参加するのは4回目です。又今回岡山県の友達に会えると楽しみにしていましたが、今回は来ないと言われ、とても残念でした。中学に入り面をつけて練習したので岡山県の友達と試合をしたかったです。でも8月5日東京の日本武道館で行われる全日本少年錬成大会に参加するようになっていたので、岡山の友達と会えるので楽しみにしています。今回の錬成大会は面をつけて練習したのですが相手が見えにくく体も思う

ように動きませんでした。各先生から早く防具に慣れなさいと言われました。東京の先生から色んなことを教えていただきました。特に先生が直接基本動作において相手をしていただいた事が、とても印象に残りました。これからは用具に早く慣れて試合に勝てるよう頑張りたいです。来年も又錬成大会があれば参加したいと思っています。



勝敗や技の優劣のみを競うのではなく、 お互いの向上をめざして

第42回少林寺拳法愛媛県大会

実行委員会事務局長 丹 博之

2009年6月14日、愛媛県武道館主道場において第42回少林寺拳法愛媛県大会を開催しました。少林寺拳法の大会は「勝敗や優劣を競うのではなく、互いに研鑽し、ともに向上する」ことを目的としています。

今大会は「ありがとうこの命、ありがとうあなたとの出会い」を大会テーマとして、鬼北町から四国中央市まで県内の41支部、幼稚園児から73歳まで老若男女約700名の拳士と保護者、友人など多数の関係者が会場を埋めるなか、盛大に開催されました。

開会式では愛媛県少林寺拳法連盟会長 塩崎 恭久衆議院議員から「少林寺拳法は『半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを』を基本理念のもと、その修練を通して、人間は育つ可能性を有する種子であることを信じ、個人が幸福な人生を送ると同時に、平和で豊かな社会を実現するために積極的に行動していける勇気と情熱を持ち、しっかりした考えと正義感あふれた真のリーダーとなることを目指して修行に励んでほしい」との開会挨拶のち、熱気あふれる競技が開始されました。

「守主攻従」「剛柔一体」の少林寺拳法の特徴を発揮して、組演武、単独演武、団体演武の3部門33種目で日頃研鑽した技を披露しました。

発表の部として行った、真剣さの中に可愛らしさのあふれる幼稚園児の単独演武披露では、凛々しい我が子の

姿に目を細める保護者も多く、また保護者参加行事「お父さん、お母さんも少林寺拳法に挑戦」では、我が子から少林寺拳法の技を習う、うれしそうなお父さんの姿も見られるなど、厳しさと和やかさの調和した、大会の目的やテーマを十分に満足させる大会となりました。

なお今大会の最優秀拳士等は8月に少林寺拳法連盟本部で開催される第3回全国中学生少林寺拳法や10月に青森県で開催される少林寺拳法全国大会出場を推薦されることとなっています。

各種目の最優秀は

- ◎団体演武 ○小学生の部 今治支部A
○中学生の部 宇和島支部A
○一般の部 宇和島支部B

◎小学生規定組演武

- 見習い～7級の部 篠原良太・戸山陽向(別子支部)
○6～4級の部 中村 幸・蔭谷岳明(松山東支部)
○3～1級の部 真木末生・渡辺貴大(宇和島支部)

◎自由組演武

- 小学生有段者の部 木藤勇希・平井 甫(宇和島支部)
○中学生男子の部 渡辺悠斗・渡辺 暁(宇和島支部)
○中学生女子の部 西野裕理・西野ちはる(鬼北支部)
○一般男子級拳士の部
矢野智基・稲田 諒(砥部大南支部)
○一般男子初段の部 栢本拓也・福岡健一(砥部大南支部)
○一般男子二段の部 二宮日紀・二宮広紀(砥部大南支部)
○一般男子三段の部 曾根勇氣・栢本竜次(松山大学支部)
○一般男子五段以上の部
溜池透奥太(三崎支部)・山本堅一郎(愛媛宇和支部)
○一般女子級拳士の部
森山聡子・吉岡敦子(松山城東支部)
○一般女子初段の部 関家彰子・大西祥歩(伊予松前支部)
○一般女子二段の部 濱田香織・福永麻琴(宇和島支部)
○一般男女級拳士の部
佐々木賀章・室節魅弥妃(松山城西支部)
○一般男女有段者の部
矢原 孟(松山大学支部)・浅木森紫野(愛媛大学支部)
○一般男子マスターズの部
岡尾浩二・田中博美(松山武南支部)
○一般女子マスターズの部
福井乃里江・齋藤敦子(北条東武支部)
○親子の部 井原 剛・井原 航(中曾根支部)

◎規定単独演武

- 見習い～7級の部 渡辺 瞭(今治支部)
○6～4級の部 佐伯宝海(今治支部)
○3～1級の部 松浦一樹(西条支部)

◎自由単独演武

- 小学生有段者の部 加藤直樹(新居浜川西支部)
○中学生男子の部 福井啓祐(北条東武支部)
○中学生女子の部 岩市莉歩(砥部大南支部)
○一般男子級拳士Ⅰ 山本智生(宇和島支部)
○男子有段Ⅰ 濱田公正(宇和島支部)
○男子有段Ⅱ 稲田秀明(伊予港南支部)
○一般女子級拳士Ⅰ 大内 史(松山城東支部)
○一般女子有段者Ⅰ 辻川茉莉江(砥部大南支部)
○一般女子有段Ⅱ 田中美樹(松山城北支部)

◎総合順位

- 議員連盟杯 宇和島支部
○越智伊平杯 宇和島支部



若い人たちに伝えたいこと

愛媛県合気道連盟
会長 松森 國彦

人間の行う力技は古く自己の保身のための、あるいは他の攻略のための格闘の術であった、合気道もまた、その源は力技にあったと考えられる。

日本人は古来より長上に対する忠節の念に厚く、純潔清廉を尊び、礼儀作法にも常に心を配り、自然を愛し、温和寛大であり、正義にしたがってことを行うに勇猛果敢な特性があった。これらの美德は、やがて文武両道の花となり、武士道として発達し、広く一般の国民にも浸透し、ついに、勤勉精励な日本の国民性を形成することになった。

社会が大きく揺れている中であって、理想に生きようとする者も、現実に生きようとする者も、すべてが、闘争に等しい毎日の生活を送っている。

強く、明るく、清い生活が望まれる。そのためには、強固な意志と、勇気と、壮健な肉体が要求される。合気道を行う意義もこれにある。

すなわち、人間の自己完成とその共存共栄に役立つ、修身と体育と武術を修得することである。

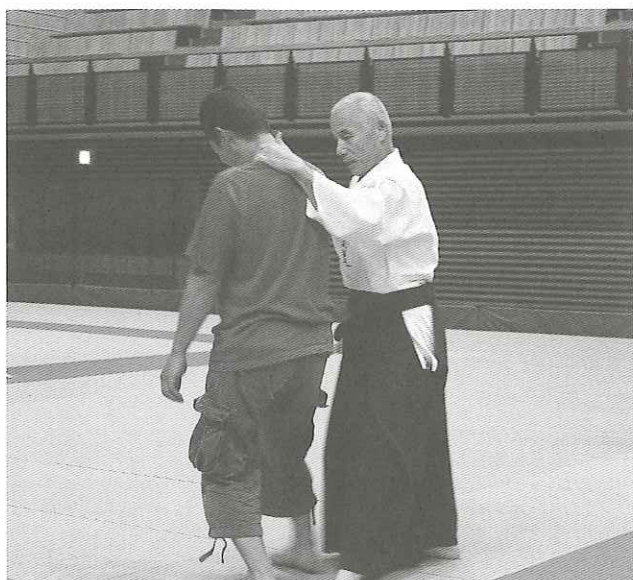
愛媛大学卒業後、母校に就職し、昭和39年、愛媛大学合気道部創部時から、同大学合気道部の活動を全面的に支えて45年間、在職中の昭和61年からは、大学の合気道部員を経験した人たちに呼びかけをして、一般道場である松山合気道錬成会をつくり、大学合気道部員と社会人が一緒に稽古できる場を23年間提供し、合気道の発展を考えてきた。

愛媛大学合気道部が、ようやくよちよち歩きを始めた頃、部員に対して、以下のように、「五つの心得」を語ってきたようであり、古希を迎える年令になり、今となっては、背伸びしていたのでは、との思いを抱きつつ、気恥ずかしいが紹介しましょう。

五つの心得とは、

- 第一、心怠りなきこと。
- 第二、心奮りなきこと。
- 第三、心貧からざること。
- 第四、心執われざること。
- 第五、心放たれざること。

即ち、一言で言えば、「誠実を尽くすこと」にある。「理を知って学は、一日の長あり」という。合気道の一挙手一投足の意味を知り、あとはそれに応じて、身体が自然に動くようになるまで、挫けず反復練習することが大切である。



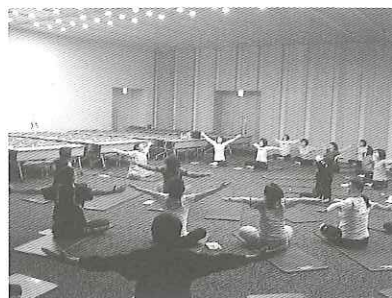
柔道の三船久蔵先生は、「一機一瞬起行」という言葉を愛しておられた。

この意味は、「これぞという機会を逃さず全力でことに当たる」ことができるよう、常日頃、身体と心の修行を怠らないように、との意味と考える。

できれば、相手に勝つのではなく、負けないことを考えて、稽古することが合気道には必要なことであると理解されたい。

事業のご報告

○スポーツ・レクリエーション教室



本年度は、「年間を通じて教室を開催して欲しい」との、皆様方の希望に応えまして、第Ⅰ期～第Ⅵ期の教室（4～3月）を6期に分け、年間を通じて活動ができるように、スポーツ・レクリエーション教室を行っております。

また、7月4日（土）に、栄養学教室（競技者用）を行いました。

今後も楽しくどなたでも参加できる教室を開催して参りますのでご参加ください。

○レクリエーション・バレーボール大会



日頃当館で練習しているチームを中心に、相互の親睦と体力向上を目的として、6月30日（火）にレクリエーションバレーボール大会を開催しました。

大会の結果は以下のとおりです（参加16チーム）。

	優勝	準優勝	第3位
第1部	Greed	マーキュリー	ゆう&みい
第2部	あーすはーと	bird	めぐみ

今後、次の事業を行う予定です。ご参加お待ちしております。

行事名	月 日
武道体験フェスタ	8月 8日
バドミントン・卓球大会	9月18日・3月12日
教室受講生等成果発表会	10月24日・3月 6日
レクバレー大会	11月19日・2月25日
栄養学教室	11月28日
鏡開き式	1月10日

（予定は変更されることがございます）